

2025ベクトル合わせ 前期 実施報告書

2025.4.12 (土) 18:50~21:00

三重県総合文化センター 多目的ホール

参加者163人

今年度の三重県サッカー協会技術委員会ベクトル合わせ前期は、技術委員長片野典和より技術委員会基本方針の確認、FA コーチ樋口士郎より育成年代に関わる指導者の姿勢について、技術委員会 TSG 部チーフ古西祥より映像から分析する三重県女子の現状と課題について、朝日新聞 潮智史氏より特別講演「フットボールに生きる～新聞記者の視点から」と、4つの内容の共有を講義形式でおこないました。

以下に、各講義の報告をさせていただきます。

- ① 技術委員会基本方針 : 三重県サッカー協会技術委員会 委員長 片野典和
2025年のスローガンである、

「**強烈な個性で躍動感のある選手・指導者**」の育成」

を目指す上での5つの基本施策について確認後、

「**不易流行**」

をキーワードに、変えないもの・変えていくものの確認がおこなわれた。



- ② 三重の現状と今後について : 三重FA コーチ 樋口士郎

「**スペースと時間の制限された中でクリエイティブに実行できるか!**」

をキーワードに、高いインテンシティをスタンダードにして攻守の切り替え、スピードやフィジカルをレベルアップしていくことの重要性について確認し、各種別における三重県の課題の部分を具体的に共有された。



- ③ TSG 発表 : 三重県サッカー協会技術委員会 TSG 部チーフ 古西祥
女子の各種大会映像を、

「**観て判断してプレーする習慣**」「**連続した攻守の切り替え**」

「**個人戦術・テクニク**」

の3観点で分析することで見えた三重県の課題と、育成年代で身につけたい能力について、映像を交えながら共有された。



- ④ 特別講演「フットボールに生きる～新聞記者の視点から」 : 朝日新聞 潮智史 氏

新聞記者として代表チームや世界のチーム等と関わってきた中で、印象に残った指導者や選手の考えや言葉について共有された。

「**細部にこだわる**こと」「**言葉に魂を込める**こと」など、代表選手と監督の間で日常的にどのような会話が繰り広げられ、どのようにチームづくりをしているのかについてのヒントをいただいた。

